

低入札に伴う事情聴取にあたっての注意事項

貴社の入札価格が「調査基準価格」を下回った場合、その入札価格の合理性を調査し、適正な施工が行われるかどうかを確認するために事情聴取を行います。

入札後、本町の契約担当者から連絡があった場合、すみやかに下記に従い、必要書類を作成のうえ、指定された日時（開札日から概ね2日～3日後）に担当社員（必ず会社を代表する契約の責任者を含めること。）を出席させてください。

記

1 必要書類

次により別紙各様式の書類を作成のうえ、事情聴取当日に提出してください。

(1) 入札理由書（様式第1号）

貴社が入札した価格で適正な施工ができるとする具体的な理由を記載してください。

(2) 工事費内訳書（様式は任意）

貴社が入札した価格（入札書記載金額）と一致するように、本町が示した設計書（工事費内訳表）に基づき作成し、別に指定する日までに提出してください。なお、必要に応じて施工単価内訳の提出を求める場合があります。

(3) 下請予定者等からの見積書等

下請け又は協力会社による施工を予定している場合、当該下請予定者等からの見積書など積算の根拠となる資料を提出してください。なお、当該資料と工事費内訳書とが不一致である場合、その理由を書面により求めることがあります。

(4) 手持工事の状況（様式第2号）

ア 契約対象工事現場付近の手持工事

契約対象工事現場付近で、現在施工中の工事があれば、元請け・下請けの別及び公共工事・民間工事の別に関係なく記載してください。

イ 契約対象工事に関連する手持工事

現在施工中の〇〇工事について、元請け・下請けに関係なく全て記載してください。

なお、ア及びイに記載した工事については、その工事の契約書の写し及び位置図（アに記載した工事については、一枚の地図に契約対象工事との位置関係が確認できるようにしてください。）を添付してください。

※ 〇〇工事とは、土木一式工事、舗装工事等、契約対象工事と同じ工事種類をその都度記載する。

(5) 手持資材の状況（様式第3号）

契約対象工事に活用できる手持資材があれば記載してください。

なお、それを証明できるもの（写真や資材台帳の写し等）があれば、添付してください。

(6) 資材購入先（様式第4号）

契約対象工事施工にあたっての必要資材の購入先（未定の場合は購入予定先）を記載してください。

(7) 労務者の供給見通し（様式第5号）

ア 労務者の供給予定

契約対象工事現場に配置を予定している主任（監理）技術者名及び各工種毎の労務者の供給計画を、貴社が受注した場合の工程表に基づき記載してください。

なお、配置予定の主任（監理）技術者の資格・免許及び所属を確認できるもの（監理技術者資格者証の写しや社会保険標準報酬月額決定通知書の写し等）及び工程表を添付してください。

イ 下請予定業者等

下請業者・協力会社への発注予定があればその内容を記載してください。

(8) 過去に施工した公共工事の実績（様式第6号）

ア 同種・類似の施工実績

過去に施工した（できる限り当資料を提出する日前5年間に完成したもの）同種・類似の公共工事（同種・類似の工事が無い場合にあつては公共工事であればよい。）について、工事名、工事内容等を最大5件記載すること。

なお、記載した工事の契約書及び検査合格通知書の写しを添付すること。

イ 工事受注状況

貴社（支店又は営業所である場合は、支店又は営業所としての受注状況）の今年度当資料作成時まで、前年度及び前々年度の〇〇工事の受注実績全て（民間工事も含む。）の受注件数及び受注総額を記載すること。

※ 〇〇工事とは、土木一式工事、舗装工事等、契約対象工事と同じ工事種類をその都度記載する。（1（4）イ中〇〇工事と同じ。）

(9) 手持機械の状況（様式第7号）

ア 自社保有機械の状況

契約対象工事に使用可能な自社保有機械があれば、その内容を記載してください。

なお、それを証明できるもの（写真や資産台帳の写し等）があれば、添付してください。

イ 利用可能機械の状況

契約対象工事施工にあたって、通常の場合よりも有利に機械を使用できるため低価格による入札が可能となった場合には、その内容（リースであればリース先、リース料等）を記載してください。

なお、それを証明できるもの（契約書の写し等）があれば、添付してください。

(10) その他

ア **契約対象工事現場と貴社の営業所、倉庫等の位置関係の位置図を添付してください。**なお、1（4）により作成した位置図に記載可能であれば、それに記載してください。

イ その他、貴社が低価格で入札できることとなった根拠を証明するにあたり、必要な書類を添付してください。（様式は任意）

ウ 貴社の経営事項審査結果通知書の過去2か年分の写しを添付してください。

2 注意事項

- (1) 事情聴取には内容を説明できる方（会社を代表する契約の責任者を含む。）4名程度まででお願いします。
- (2) 本資料作成にあたっての費用は、貴社の負担とします。
- (3) 提出された資料は返却しません。また、貴社に無断で他の用途には使用しません。
- (4) 今回の事情聴取により適正な施工がなされるかどうか判断できない場合や疑義が生じた場合には、再度、事情聴取や書類の提出を求めることがあります。
- (5) 事情聴取の際、虚偽の申し立てや提出書類に虚偽の記載をした場合には、阿久比町指名停止要領に基づく指名停止を行うことがあります。
- (6) 当日、無断、あるいは特段の事情がないにもかかわらず欠席した場合は失格とします。

3 その他

低価格入札者との契約の際の条件

- (1) 専任技術者の増員又は配置技術者の選任を求めます。
- (2) 履行保証割合を1割から3割に引き上げます。
- (3) 前金払支払割合を4割から2割に引き下げます。
- (4) 重点監督の実施を行います。

愛知県知多郡阿久比町長 殿

住 所
商号又は名称
代表者氏名 印

低価格により入札した理由について

下記工事について、低価格で入札できた理由及び関係書類を別紙のとおり提出します。

記

1 工 事 名

2 路線等の名称

3 工 事 場 所

4 入 札 日 時

年 月 日 () 午 時 分

5 入札書記載金額

金 円

6 低価格で入札できた理由

(1)

(2)

※ 理由が多数ある場合は、それぞれの理由毎に項目を分けて詳しく記載してください。

(例) 系列の〇〇会社から、〇〇に必要な〇〇鋼材については、通常の市場価格の約〇割で納入可能であるため

様式第2号

7 手持ち工事の状況

(1) 契約対象工事現場付近の手持工事

工事名及び路線名等	(工事名) ○○○○工事 (路線等の名称) 一般国道○○線 (工事場所) ○○市○○町○○地内		
契約金額	○○○, ○○○円 ※ 共同企業体により受注した場合は、その企業体名及び出資比率を記載すること。		
工期	○○年○○月○○日～ ○○年○○月○○日		
発注者名	○○県 ※ 民間工事でも該当があれば記載してください。		
元下の別	※ 元請け、下請けの別を記載すること。		
工事概要	工事延長 L=○○m 幅員 W=○○m 擁壁工 H=○○m L=○○m 管渠布設 L=○○m 等		
備考	※ 当該工事を施工しているため、契約対象工事の施工が他社に比べ有利である等低価格で入札したことに関連する事項があればその内容を記載すること。		

※ 記載件数に制限はありません。また、元請工事にこだわる必要はありません。

(2) 契約対象工事に関連する手持工事

工事名及び路線名等	(工事名) ○○○○工事 (路線等の名称) 一般国道○○線 (工事場所) ○○市○○町○○地内		
請負代金額	○○○, ○○○円 ※ 共同企業体により受注した場合は、その企業体名及び出資比率を記載すること。		
工期	○○年○○月○○日～ ○○年○○月○○日		
発注者名	○○県 ※ 民間工事でも該当があれば記載してください。		
元下の別	※ 元請け、下請けの別を記載すること。		
工事概要	工事延長 L=○○m 幅員 W=○○m 擁壁工 H=○○m L=○○m 管渠布設 L=○○m 等		
備考	※ 当該工事を施工しているため、契約対象工事の施工が他社に比べ有利である等低価格で入札したことに関連する事項があればその内容を記載すること。		

※ 元請工事・下請工事に関係なく、現在施工中の○○工事を全て記載してください。
なお、同様式7(1)に記載した工事については、省略して構いません。

様式第5号

10 労務者の供給見通し

(1) 労務者の供給予定

配置予定の主任 (監理)技術者名				住 所 電 話	
法令による 資格・免許等	(例) 一級土木施工管理技士 等 ※資格・免許を確認できるもの及び所属を確認できるものを添付すること。				
工 種	職 種	人 数	日 数	所 属 等	

- ① 資格・免許を確認できるものとは、監理技術者資格者証の写し等をいう。
- ② 所属を確認できるものとは、社会保険標準報酬月額決定通知書の写し（配置予定技術者の氏名及び所属会社名が確認できるものであること。）等をいう。
- ③ 工事全体の工程表を添付してください。

(2) 下請予定業者等

下請等 業者名	住所 電話	建設業者許可の 内容	下請等の概要 及び下請等予定金額
〇〇会社(株)	〇〇市〇〇-〇〇 (00) 00-0000	※ 許可番号 許可年月日 建設業の種類 を記載すること。	

様式第6号

1 1 過去に施工した公共工事の実績

(1) 同種・類似の施工実績

工事名及び路線名等	(工事名) ○○○○工事 (路線等の名称) 一般国道○○線 (工事場所) ○○市○○町○○地内		
契約金額	○○○, ○○○円 ※ 共同企業体により受注した場合は、その企業体名及び出資比率を記載すること。		
工期	○○年○○月○○日～ ○○年○○月○○日		
発注者名	○○県 ※ あくまで公共工事の受注実績です。		
元下の別	※ 元請け、下請けの別を記載すること。		
工事概要	工事延長 L=○○m 幅員 W=○○m 擁壁工 H=○○m L=○○m 管渠布設 L=○○m 等		
備考	※ 当該工事を施工しているため、契約対象工事の施工が他社に比べ有利である等低価格で入札したことに関連する事項があればその内容を記載すること。		

※ 必ず5件記載するようにしてください。(5件以上受注した実績がない場合は全て記載してください。)

(2) 工事受注状況

当資料作成時における 現年度全受注実績		前年度年間 全受注実績		前々年度年間 全受注実績	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
件	百万円	件	百万円	件	百万円

※ 当資料作成時における現年度全受注実績：今年4月から当資料作成時までの貴営業所が受注した全ての〇〇工事（民間及び下請工事を含む。）について、件数及び請負代金額を記載する。

前年度年間全受注実績： 〇〇年4月から 〇〇年3月までの貴営業所が受注した全ての〇〇工事（民間及び下請工事を含む。）について、件数及び請負代金額を記載する。

前々年度年間全受注実績： 〇〇年4月から 〇〇年3月までの貴営業所が受注した全ての〇〇工事（民間及び下請工事を含む。）について、件数及び請負代金額を記載する。

※ 共同企業体としての受注実績は、件数は1件、金額は出資比率に応じた金額とする。

様式第7号

1 2 手持機械の状況

(1) 自社保有機械の状況

機 械 名	台 数	能 力 ・ 取 得 年 月 日 等

※ 貴社所有であることが証明できるもの（写真や資産台帳の写し等）があれば、添付してください。

(2) 利用可能機械の状況

機 械 名	台 数	能 力	機械供給先名、利用料金等
			〇〇市〇〇-〇〇
			〇〇(株) 電話 (00) 00-0000
			〇〇〇〇円 (〇〇月~〇〇月)

※ 安くリースできる等、低価格による入札が可能となったことを証明できるもの（契約書の写し等）があれば、添付してください。

添付書類一覧表

事情聴取にあたって、必要な添付書類を一覧にしましたので、提出の場合は再度確認してください。

工事費内訳書：1 (2)
下請予定者等からの見積書等：1 (3)
契約対象工事現場及びその付近の貴社手持工事場所の関係を示した位置図：1 (4)ア
契約対象工事に関連する手持工事場所を示した位置図：1 (4)イ
手持資材及び手持機械の存在を確認できる資料：1 (5)及び1 (9)ア
配置予定技術者の資格・免許及び所属を確認できる資料：1 (7)ア (一級土木施工管理技士を証する書面の写し、監理技術者資格者証の写し、社会保険標準報酬月額決定通知書の写し) 等
工程表：1 (7)ア
契約対象工事現場と貴社の営業所、倉庫等の場所の関係を示した位置図：1 (10)ア
経営事項審査結果通知書の写し (最新のもの及びその1つ前のもの)：1 (10)ウ
契約書の写し：1 (4)ア、1 (4)イ、1 (8)ア
検査合格通知書の写し：1 (8)ア
その他、貴社が低価格で入札することができることとなった根拠を証明するにあたり、必要な書類 (例) 資材を安く購入できるのであれば、購入先の見積書